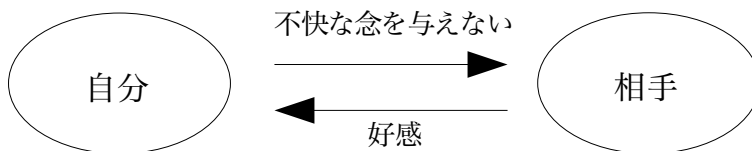


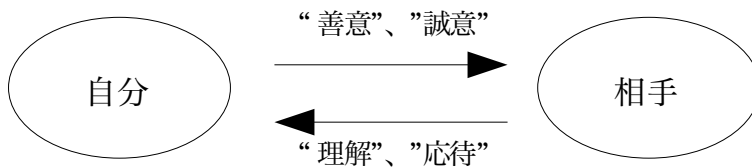
『心で作る人生』 穂苅 満雄

1 限目 memo

- ・お茶飲みながら会議を 10 回やるくらいなら、1 回皆で飯を食え (= 泊まれ)。
- ・挨拶、言葉
生 人生 死
- ・ |-----|
- ・私たちは、20 年生活してきただけの常識を持っている。
- ・ 4 歳までの間に身に付けなければいけない (駄ないといけない)。
 - 挨拶
 - 返事 なぜ身に付けなければいけないのか？
 - 椅子 左の 4 つは”形”を身につける → “心”がけにつながる。
 - 履物
- ・ 常識を身につける = 形を整える。
- ・ 個人の行動で評価される。
 - 外国で良い印象を与える行動をする → 日本人は素晴らしい。と評価される。
- ・ 人生を大きく変えていくのは、『心の動き』
- ・ 能力(+) × 努力(+) × 考え方(+ or -) = 自分
- ・ “礼” = 他人に対して不快な念を与えないこと。 = 人に好感を与える。
- ・ 不快な念を与えない → 相手の気持を考えるとということ。
- ・ “礼儀”作法
- ・ “行儀”作法



- ・ “心”は”自由”に使える。”無限大”である。そして、”増大”する。
- ・ “善”の心で接すれば、”善”が返ってくる。



- 無礼の要素
 - 自分に対して”卑下”すること。
 - 他人に対して”不遜”に及ぶこと。

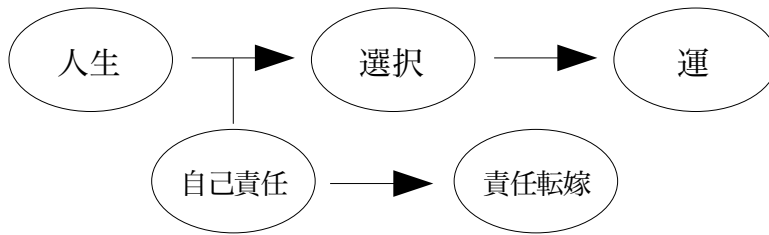
- “考え方” → 学び、修養を高めていく。
- 『1日学んで、道理を悟得することは、10年の”経験”を省略する。』
- “言葉”、“態度”、“動作”、“眼差し”
- 『5尺の体は1尺の顔に現れる、1尺の顔には1寸の目に現れる。』

- 教師をやっていた頃、よく生徒たちに言っていたこと。
 - 「遅刻をするな！！」
 - 「黒板は綺麗にしておけ！！」
 - 「内職はするな！！」
 - 「寝るな！！」

- “経験” = “知識”
- 同質経験 → 多くの人が経験すること、義務教育 etc...
- 異質経験 → 人によって違う経験、一人暮らし、大学生活 etc...
- 今までの経験（同質経験）にこだわっていれば、人間が小さくなる。
- 異質経験をいかに自分のものにするか。 → 心の幅を広げる。 → “生きがい”を見つけることが重要。

2 限目 memo

- ・ 人生は選択の連続



- ・ 人生の転機

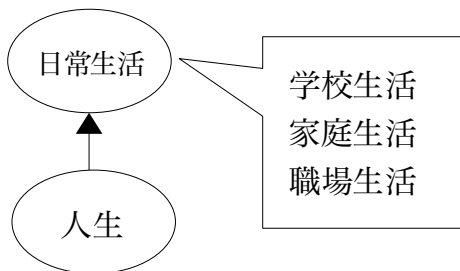
- 出生
- 入学
- 就職
- 結婚

- ・ 道標 → 通行人の便宜のために距離や方向を路傍に立てかけた標識。

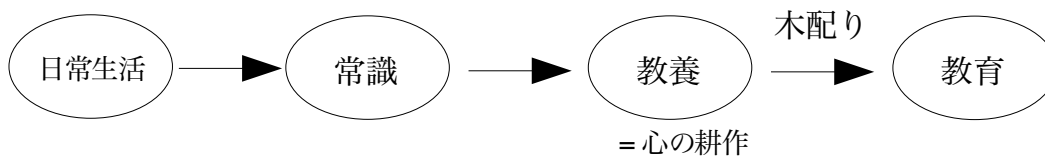
- ・ 道徳 → 人間が踏み行うべき道筋

- ・ 尊敬、恥を知る → 人間と動物との根本的違い。

- ・ “社会生活”の秩序を存続させるため、“個人”が守らなければならない規範の総体 → “道徳”



- ・ 創造性



- ・ “教育”とは本来、可能性として持っているものがあるものを手引きとして、自ら開発し引き出すこと。

- ・ 自ら開発し引き出す = “努力”

3 限目 memo

- ・ 教育の別の考え方
 - 人々に対して意図的に働きかけを行ない、その人を望ましい方向に変化させること。
 - 人間形成に作用するすべての”精神的影響” = “感化”
- ・ 活動する場所
 - 学校、社会、家庭、職場
- ・ “知識”を豊富にし、正しい”判断力”と”創造力”を養い、豊かな”情操”を育て、強い”意志”を持った人間を育てること。
- ・ “判断力”、“想像力”、“情操”、“意志”はいずれも心の問題である。
- ・ 教に三道あり
 - 心教（しんきょう）は化（か）なり。
 - 躬教（きゅうきょう）は迹（せき）なり。
 - 言教（げんきょう）は則（すなわ）ち言（げん）に資（し）す。
- ・ 学ぶ意義
 - 社会に出て働けるための知識と技術を身につける。
 - より良い社会環境を作ろうという配慮の持てる人間になるため
 - 精神的内面を深めるため。
- ・ 書は人を救う。
- ・ 教を主とせず、講師を主と〇〇〇、道を失わざるなり。？
- ・ “個” = 品性 → 人間力、人柄、人格。
- ・ 人格に差が生じる理由
 - 気質、体質(=遺伝)、の相違 → 変えることはできない。
 - 能力の相違 → 変えることは難しい。
 - 欲求の相違
 - 価値観の相違 → 変えることができる。
 - 学習内容の相違 → 変えることができる。

4 限目 memo

- ・ 主観的な幸せ
- ・ 客観的な幸せ → 健康であるなど etc...
- ・ “本当の幸せ”は、この2つを兼ね備えている。

- ・ 一般的に、発展性、永続性、審美性 があるものを → 幸福感という

- ・ 説明 → 言って聞かせて分らせる。
- ・ 説得 → 説明して納得させる。

- ・ リーダとは影響者である。
- ・ フォロワーとは被影響者である。

- ・ 生まれつき（天性）
- ・ 地位、権限 → 与えられればリーダーシップが発揮できるか？
- ・ メンバーの支持
 - 人権陶冶のための自己研磨
 - 率先垂範の勇氣
 - 人情味

- ・ リーダーのタイプ
 - 教育型 / 57%
 - 民主型 / 21%
 - 無干渉型 / 11%
 - 先導型 / 8%
 - 人情型 / 3%

- ・ リーダーの資質条件
 - 人間的な魅力
 - 決断力、判断力
 - 実行力
 - 指導力
 - 演出力、演技力

- ・ 天地人
 - 天の時
 - 地の利
 - 人の和

まとめ講義 memo

- ・現在の教育システムは、教育理念が問題である。
- ・教師 → 偏った思想の教師 → 教わった生徒は視野が狭くなる。

- ・教育環境

- ・生物的存在として
 - 親、祖先からの遺伝（内側）
 - 自然の環境→ これら2つは変えられない。

- ・社会的存在として
 - 社会的、文化的環境
 - 家庭環境→ これら2つは、自分1人で変えるのは困難である。
 - “心づかい”と”行い” → 自分で変えることができる。

- ・「正しいことを正しく学んで正しく理解し正しく伝える」
- ・明るい未来を築く

- ・荀子 → 性悪説
 - 乱世の兆し
 - ソノ服ハ組 → きらびやかで退廃的なぜいたく品が横行。
 - ソノ容ハ婦 → 男性の女性化。
 - ソノ俗ハ淫 → 風俗が淫らになる。
 - ソノ志ハ私 → 国のためとか、社会のためとかは全然考えず、利己一点張り、自分のことしか考えない。
 - ソノ声楽ハ險 → 歌も音楽も刺々しく、どこか常軌を逸してる。

- ・管仲
 - 国に四維 (= 綱領)
 - 礼 → “安定”、人間関係、倫理的規範 → 日本人が元々持っていたもの。
 - 儀 → “危機”、倫理道德にかなっていること → 日本人は義務を優先していたが…
 - 廉 → “転覆”、無私無欲であること。
 - 恥 → ”滅亡”、恥を知ること。

- ・一つなくなると”安定”がなくなり、国が傾き、
- ・二つなくなると”危機”、国が危うくなり、
- ・三つなくなると”転覆”、国は転覆し、
- ・四つなくなると”滅亡”、国が滅亡してしまう。

- ・国が傾いても立てなおすことができる。
- ・国が危うくなっても、安定に戻すことができる。
- ・国が転覆しても、復元することができる。
- ・しかし、国が滅亡してしまうと、もはやどうすることもできない。